

# 食品産業動向調査結果

- 1 食品産業の景況について
- 2 今後の経営発展に向け取り組みたい課題について
- 3 国産農林水産物の今後の調達量について
- 4 原材料高騰等への対応について
- 5 輸出の取組み状況について

## 調査要領

**調査時点** 令和4年7月1日

**調査方法** 調査票による郵送調査とインターネット調査を併用

### 調査対象企業

公庫取引先を含む全国の食品関係企業（注） 6,861社

有効回収数 2,634社（回収率：34.8%）

〈内訳〉	食品製造業	1,679社
	食品卸売業	648社
	食品小売業	220社
	飲食業	87社

（注）主な調査対象は国産の農林水産物を原材料として使用または商品として取り扱う食品関係企業

※景況判断のため、アンケート結果からDI値を算出。

DI(Diffusion Index = 動向指数)とは、「増加する(良くなる)」と回答した企業の割合から「減少する(悪くなる)」と回答した企業の割合を差し引いた数値。

詳しい調査結果を当公庫ホームページ (<https://www.jfc.go.jp/>)に  
掲載しています。トップページから「刊行物・調査結果」→「農林水産事業」  
→「食品産業動向調査」の順でご覧いただくか、右の2次元コードでもア  
クセス可能です。（通信料はお客様のご負担となります）



＜調査に関するお問い合わせ＞

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部 TEL 03-3270-5585

注：図表において、四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

令和4年11月



日本政策金融公庫  
農林水産事業

この冊子に使われている紙は、日本の森林を育てるために  
間伐材を積極的に使用しています。



# 1 食品産業の景況について

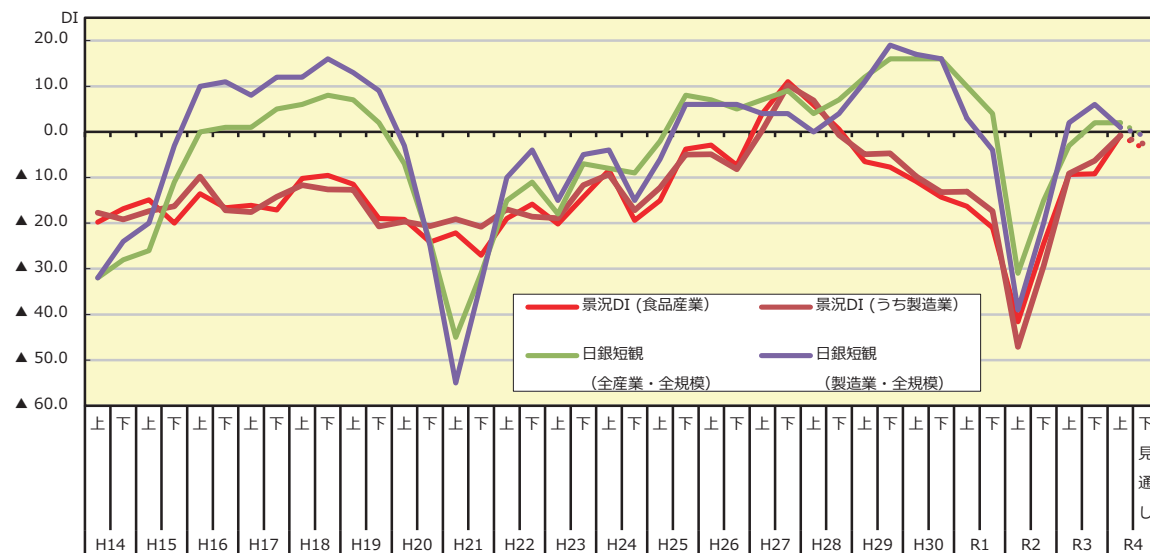
景況DI (景況DIは、売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIを単純平均して算出)

**【実績】**

・令和4年上半期の景況DIは、前回調査(令和3年下半期実績)から8.4ポイント上昇し▲0.8となった。

**【見通し】**

・令和4年下半期の景況DIは、令和4年上半期から3.1ポイント低下し▲3.9となる見通し。



( )は前回との差

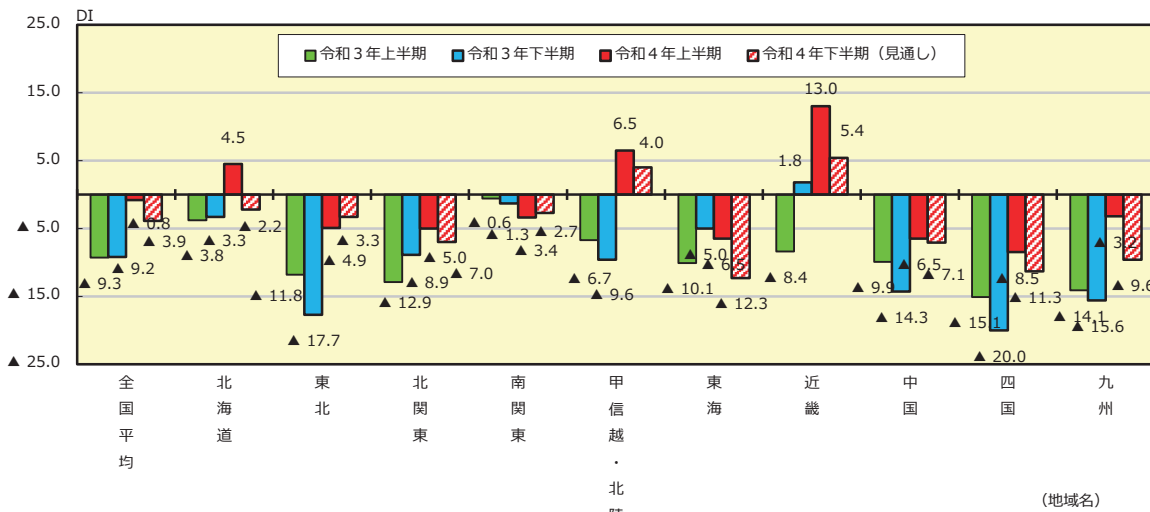
## 地域別景況DI

**【実績】**

・令和4年上半期の地域別景況DIは、南関東(-2.1ポイント)および東海(-1.5ポイント)を除く地域で上昇し、北海道(4.5)および甲信越・北陸(6.5)ではプラス値に転じた。上昇幅をみると、甲信越・北陸(+16.1ポイント)、東北(+12.8ポイント)、九州(+12.4ポイント)の順に大きくなった。

**【見通し】**

・令和4年下半期の地域別景況DIは、東北(+1.6ポイント)および南関東(+0.7ポイント)を除く地域では低下し、北海道(-2.2)は再びマイナス値に転じる見通し。



(注)地域の区分

北海道……北海道  
 東北……青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県  
 北関東……茨城県、栃木県、群馬県  
 南関東……埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
 甲信越・北陸……新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海……岐阜県、静岡県、愛知県、三重県  
 近畿……滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県  
 中国……鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県  
 四国……徳島県、香川県、愛媛県、高知県  
 九州……福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県(沖縄県除く)

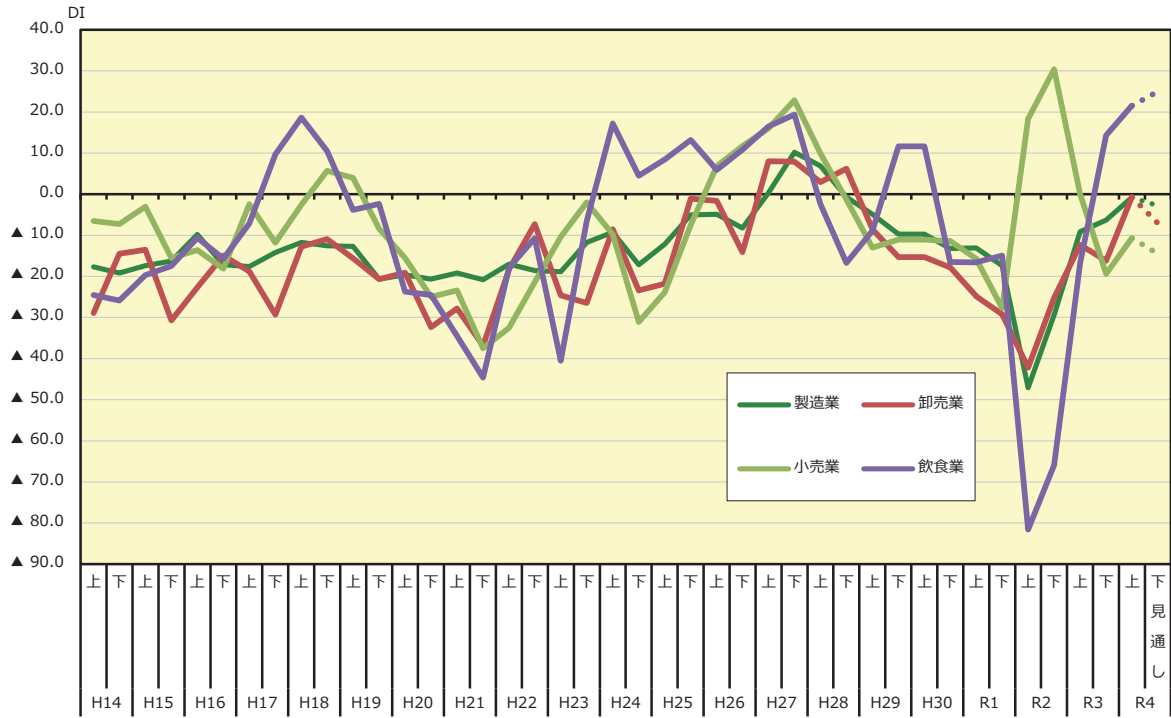
# 業種別景況DI

## 【実績】

・令和4年上半期の業種別景況DIは、製造業、卸売業、小売業ではマイナス幅が縮小し、飲食業では前回調査(令和3年下半期)から引き続きプラス値となった。

## 【見通し】

・令和4年下半期の業種別景況DIは、飲食業を除く業種で令和4年上半期から低下する見通し。

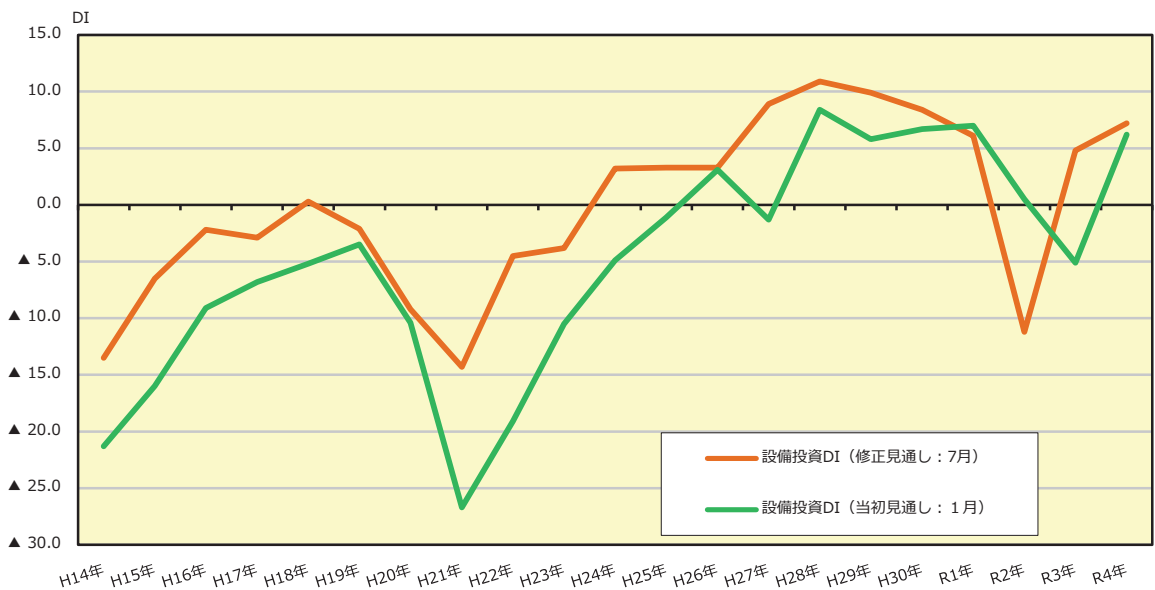


	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期	令和2年 上半期	令和2年 下半期	令和3年 上半期	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期 見通し
製造業	▲ 4.9	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 13.2	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 47.1	▲ 29.4	▲ 9.1	▲ 6.3	▲ 0.8(+5.5)	▲ 2.8(-2.0)
卸売業	▲ 8.5	▲ 15.3	▲ 15.3	▲ 17.8	▲ 24.8	▲ 29.2	▲ 42.2	▲ 25.2	▲ 12.3	▲ 16.2	▲ 0.7(+15.5)	▲ 7.1(-6.4)
小売業	▲ 13.0	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 11.4	▲ 15.7	▲ 27.7	18.3	30.4	0.0	▲ 19.4	▲ 10.7(+8.7)	▲ 14.5(-3.8)
飲食業	▲ 8.9	11.6	11.6	▲ 16.5	▲ 16.6	▲ 14.9	▲ 81.6	▲ 65.9	▲ 16.8	14.3	21.5(+7.2)	25.0(+3.5)

( )は前回との差

# 設備投資DI (「増加」の割合から「減少」の割合を引いた値)

・食品産業の設備投資DI(令和4年7月時点の令和4年通年の設備投資見通し)は、7.2となった。



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
設備投資DI (修正見通し:7月)	▲ 3.8	3.2	3.3	3.3	8.9	10.9	9.9	8.4	6.1	▲ 11.2	4.8	7.2(+2.4)
設備投資DI (当初見通し:1月)	▲ 10.5	▲ 4.9	▲ 1.1	3.1	▲ 1.3	8.4	5.8	6.7	7.0	0.5	▲ 5.1	6.2(+11.3)

( )は前回との差

【参考】景況DI（業種別詳細）

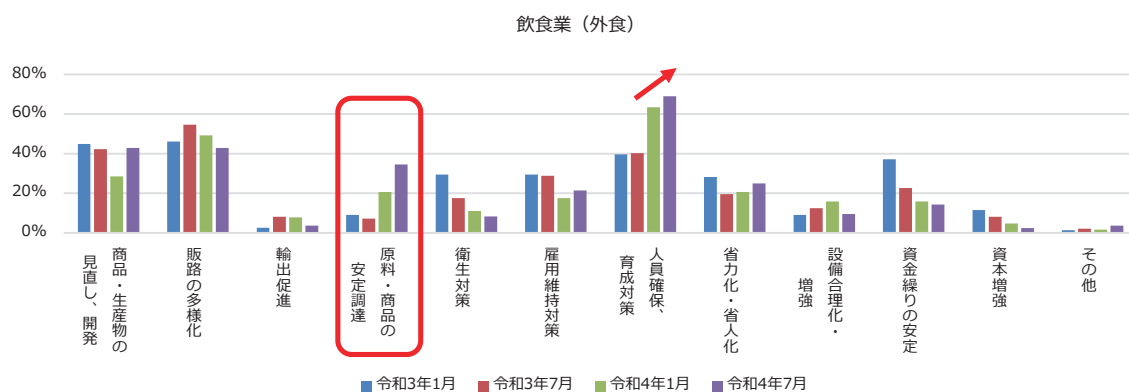
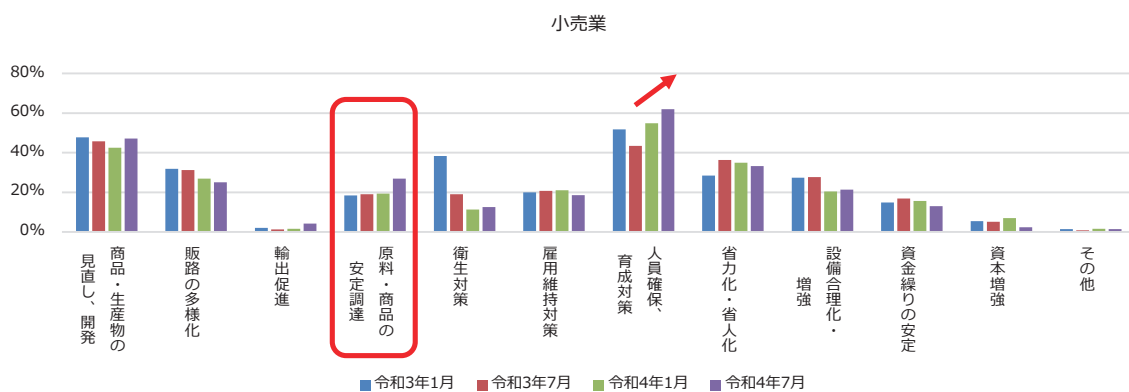
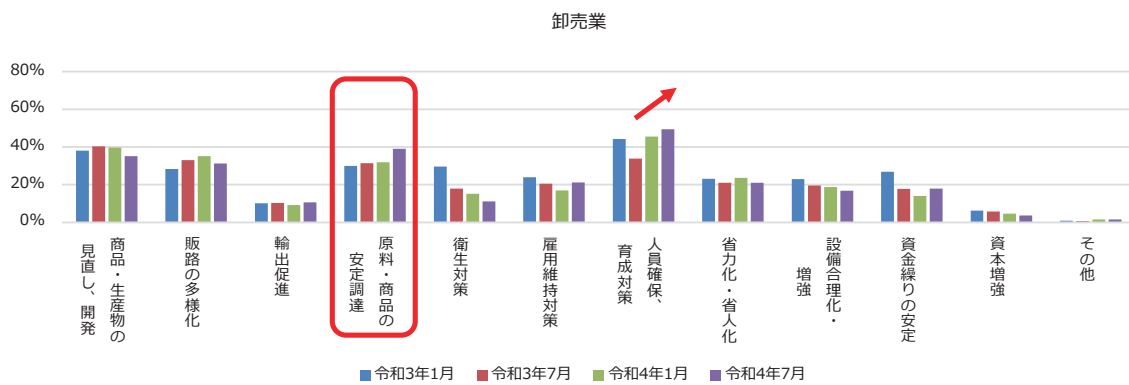
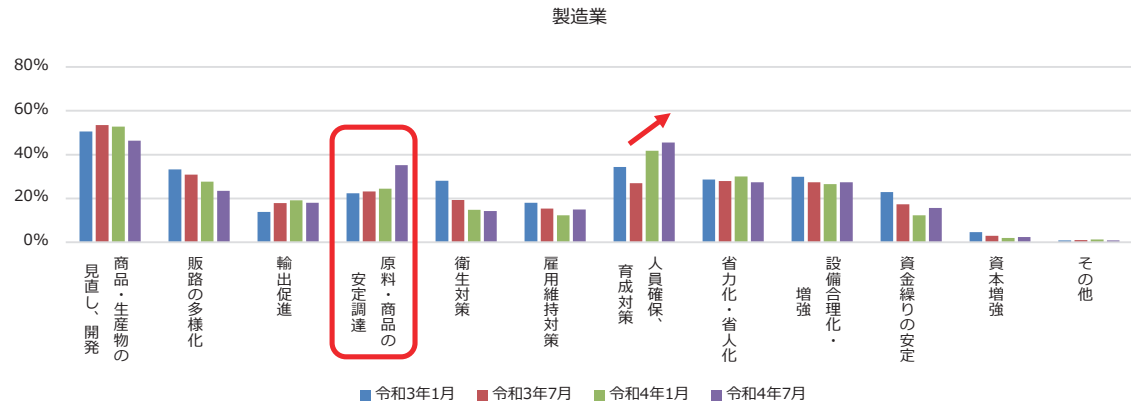
業種／業態		景況		売上高		経常利益		資金繰り	
		令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期
製 造 業	食肉加工品	▲ 7.2	▲ 8.5	17.0	12.4	▲ 24.8	▲ 23.2	▲ 13.9	▲ 14.7
	牛乳・乳製品	▲ 9.9	▲ 15.9	16.7	6.9	▲ 38.0	▲ 38.0	▲ 8.4	▲ 16.6
	水産食品	▲ 5.3	▲ 15.7	5.2	1.1	▲ 15.9	▲ 31.3	▲ 5.1	▲ 17.0
	農産保存食品	▲ 9.0	▲ 9.5	6.2	3.6	▲ 24.1	▲ 17.7	▲ 9.0	▲ 14.3
	調味料	▲ 5.8	▲ 8.1	13.7	16.3	▲ 18.7	▲ 26.9	▲ 12.3	▲ 13.8
	糖類	▲ 6.7	▲ 33.3	40.0	0.0	▲ 60.0	▲ 60.0	0.0	▲ 40.0
	精穀・製粉	6.7	5.0	18.4	36.7	3.3	▲ 10.0	▲ 1.7	▲ 11.7
	パン	▲ 4.4	▲ 21.9	10.0	▲ 10.4	▲ 13.3	▲ 27.6	▲ 10.0	▲ 27.6
	菓子	19.0	16.3	46.7	42.8	14.9	9.8	▲ 4.6	▲ 3.6
	油脂	0.0	13.3	40.0	50.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 10.0
	めん類	▲ 6.9	▲ 9.0	15.6	17.5	▲ 20.3	▲ 25.4	▲ 15.9	▲ 19.1
	冷凍食品	▲ 0.6	0.5	31.1	38.0	▲ 20.7	▲ 22.4	▲ 12.1	▲ 14.1
	炊飯・そう菜	▲ 3.8	▲ 1.7	25.6	29.5	▲ 20.5	▲ 20.6	▲ 16.6	▲ 14.1
	飲料	9.9	1.4	23.5	23.4	0.0	▲ 8.5	6.3	▲ 10.6
	酒類	13.0	20.3	29.3	40.3	11.0	18.2	▲ 1.2	2.3
	その他	▲ 10.9	▲ 8.6	5.3	15.4	▲ 27.0	▲ 25.1	▲ 11.0	▲ 16.0
	(製造業)①		▲ 0.8	▲ 2.8	18.4	19.9	▲ 12.8	▲ 16.0	▲ 7.9
卸 売 業	各種商品	6.1	8.0	23.9	25.4	▲ 5.6	▲ 4.2	0.0	2.9
	穀類・豆類	▲ 1.6	1.7	▲ 18.6	17.0	8.5	▲ 16.9	5.2	5.1
	青果物	▲ 5.6	▲ 18.5	2.9	▲ 14.4	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 6.7	▲ 13.0
	食肉	▲ 0.4	▲ 0.5	18.1	23.9	▲ 5.5	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 15.5
	生鮮魚介	0.5	▲ 2.7	19.3	20.4	▲ 1.8	▲ 8.9	▲ 15.9	▲ 19.6
	その他生鮮品	3.1	▲ 14.7	25.0	▲ 6.2	▲ 6.3	▲ 25.0	▲ 9.4	▲ 12.9
	その他飲食品	2.8	▲ 5.9	11.8	3.6	0.0	▲ 9.5	▲ 3.5	▲ 11.9
(卸売業計)②		▲ 0.7	▲ 7.1	10.1	6.1	▲ 5.3	▲ 16.5	▲ 7.0	▲ 10.9
② 関 係 業 者 の う ち 市 場	うち市場開設兼卸売	2.2	▲ 17.5	10.3	▲ 15.6	1.3	▲ 23.4	▲ 5.1	▲ 13.4
	うち市場卸売	▲ 3.0	▲ 12.8	14.6	4.4	▲ 9.6	▲ 22.7	▲ 13.9	▲ 20.0
	うち市場仲卸	▲ 17.0	▲ 23.5	▲ 5.0	▲ 13.1	▲ 27.8	▲ 34.4	▲ 18.1	▲ 22.9
(小売業計)③		▲ 10.7	▲ 14.5	▲ 3.2	▲ 7.4	▲ 27.0	▲ 28.9	▲ 1.8	▲ 7.1
(飲食業)④		21.5	25.0	50.0	57.2	8.4	13.1	6.0	4.7
(食品産業計)①~④計		▲ 0.8	▲ 3.9	15.6	15.4	▲ 11.4	▲ 16.3	▲ 6.7	▲ 10.9

お天気マークは、DI値によって次のとおりとしています。



## 2 今後の経営発展に向け取り組みたい課題について

・今後の経営発展に向け取り組みたい課題は、すべての業種で「人員確保、育成対策」の回答割合が高く、「原料・商品の安定調達」が前回調査より大きく上昇した。



### 3 国産農林水産物の今後の調達量について

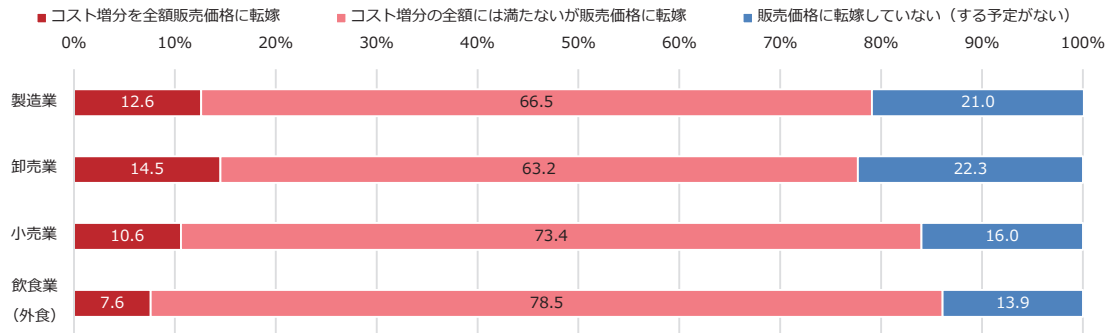
・国産農林水産物の今後の調達量について、「増加する」の回答割合は、製造業では前回調査（令和3年下半期）から4.3ポイント上昇し25.0%となった。飲食業（外食）では8.0ポイント上昇し19.8%となり、上昇幅が最も大きくなった。



## 4 原材料高騰等への対応について

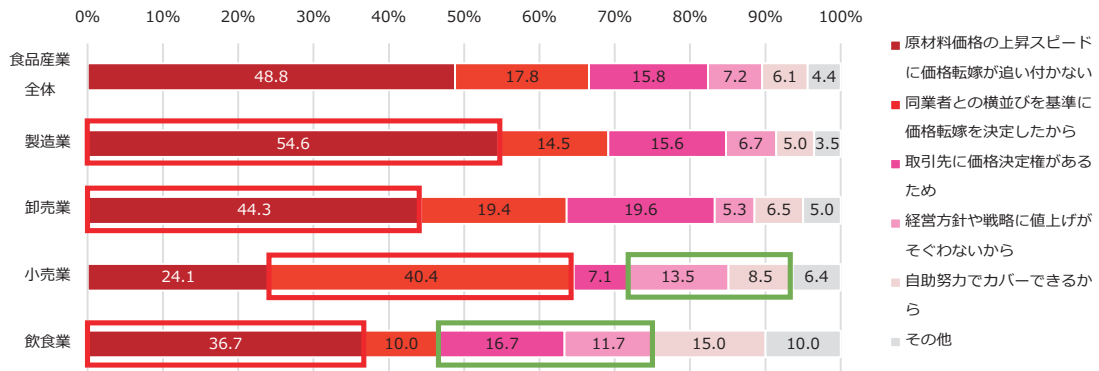
- ・コスト増分の価格転嫁の状況は、「コスト増分の全額には満たないが販売価格に転嫁(しようとしている)」の回答割合が6割を超えた。
- ・「コスト増分を全額販売価格に転嫁(しようとしている)」の回答割合は約1割となった。

コスト増加分の販売価格への転嫁



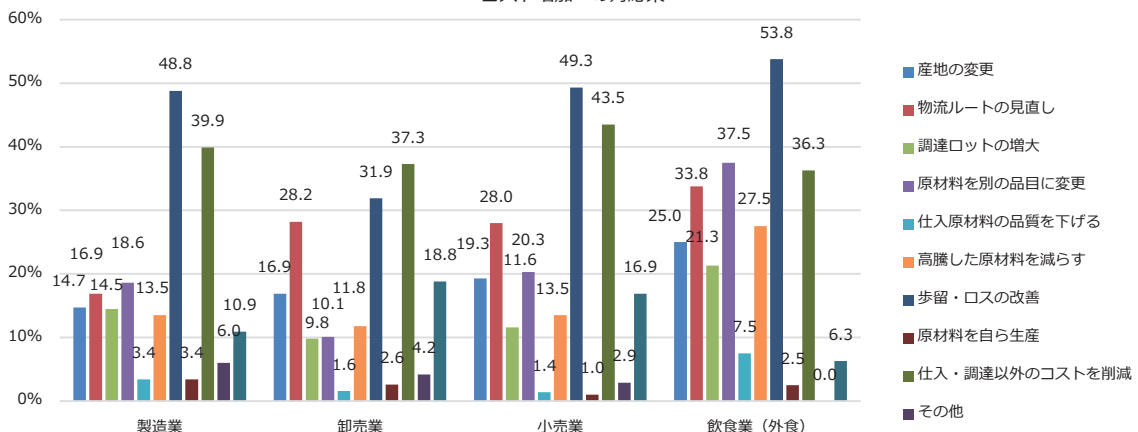
- ・コスト増分を全額販売価格に転嫁できない理由について、「コスト増分の全額には満たないが販売価格に転嫁(しようとしている)」と回答した先においては、製造業、卸売業、飲食業で「原材料価格の上昇スピードに価格転嫁が追い付かない」、小売業で「同業者との横並びを基準に価格転嫁を決定」の回答割合がそれぞれ最も高くなった。小売業と飲食業では「経営方針や戦略に値上げがそぐわない」、「自助努力でカバー」の回答割合が他業種に比べて高くなった。

「全額には満たないが販売価格に転嫁している」先で全額販売価格に転嫁できない理由



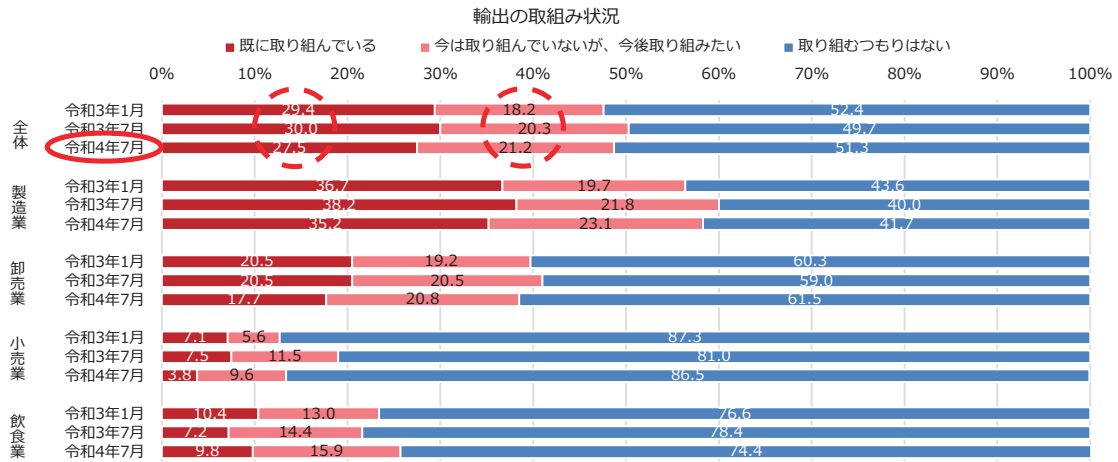
- ・コスト増加への対応策は、すべての業種で「歩留・ロスの改善」、「仕入れ・調達以外のコストを削減」の回答割合が高くなった。
- ・卸売業と小売業では「物流ルートの見直し」、飲食業(外食)では「物流ルートの見直し」、「原材料を別の品目に変更」、「高騰した原材料を減らす」の回答割合も高くなった。

コスト増加への対応策

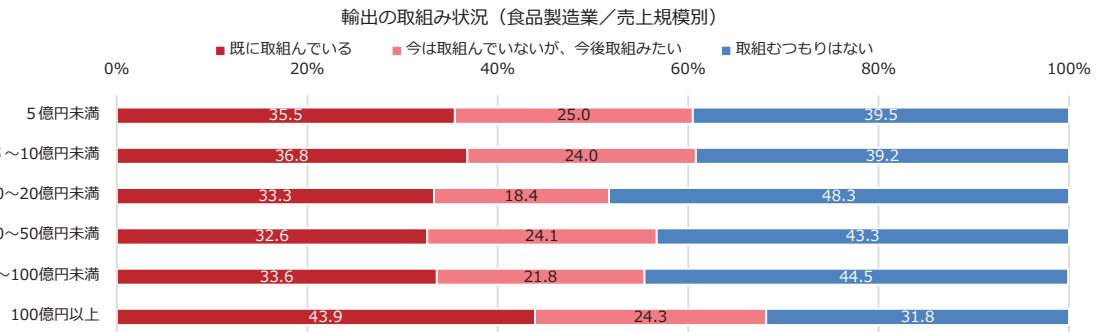


# 5 輸出の取組み状況について

・食品産業における輸出（輸出向け製品の製造や海外への店舗展開を含む）の取組み状況は、「既に取り組んでいる」（27.5%）、「今は取り組んでいないが、今後取り組みたい」（21.2%）となった。過去2回の調査（令和3年7月調査、令和3年1月調査）と同様に、「既に取り組んでいる」は約3割、「今は取り組んでいないが、今後取り組みたい」は約2割で推移している。



・食品産業における輸出（輸出向け製品の製造や海外への店舗展開を含む）の取組み状況について、製造業の売上規模別では、「既に取り組んでいる」の回答割合は、すべての規模層で30%以上となった。  
 ・「今は取り組んでいないが、今後取り組みたい」の回答割合は、10～20億円未満の層を除く規模層で20%以上となった。



・輸出に「既に取り組んでいる」と回答した先が今後新たに開始もしくは拡大したい輸出対象国（地域）について、製造業の品目別に聞いたところ、水産食品、野菜漬物など農産保存食品、調味料、めん類、茶を含む飲料、酒類では「米国」または「EU」が最も多い。食肉加工品では「香港」に次いで「中国」、「シンガポール」が多い。

今後新たに開始・拡大したい対象国（地域）

■ 30%以上 ■ 20～29% ■ 10～19% (単位：%)

品目	香港	台湾	中国	韓国	シンガポール	オーストラリア	タイ	ベトナム	マレーシア	インドネシア	フィリピン	米国	EU	インド	ロシア	その他
食肉加工品	43.5	17.4	30.4	8.7	30.4	8.7	21.7	13.0	0.0	4.3	8.7	17.4	17.4	4.3	0.0	8.7
水産食品	25.0	31.8	30.7	6.8	22.7	12.5	18.2	18.2	18.2	17.0	10.2	39.8	33.0	9.1	0.0	4.5
農産保存食品	16.0	32.0	24.0	8.0	16.0	12.0	32.0	28.0	28.0	28.0	12.0	40.0	40.0	12.0	4.0	12.0
調味料	20.0	31.1	17.8	13.3	28.9	22.2	15.6	15.6	8.9	11.1	6.7	40.0	37.8	8.9	2.2	4.4
精穀・製粉	9.1	18.2	27.3	9.1	27.3	18.2	27.3	18.2	27.3	36.4	9.1	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0
菓子	27.1	31.3	27.1	16.7	14.6	22.9	14.6	22.9	10.4	16.7	10.4	22.9	20.8	14.6	0.0	2.1
めん類	15.8	21.1	31.6	10.5	10.5	21.1	15.8	10.5	10.5	15.8	10.5	21.1	36.8	15.8	0.0	5.3
飲料	21.1	15.8	10.5	5.3	15.8	26.3	21.1	26.3	15.8	31.6	15.8	42.1	26.3	26.3	5.3	15.8
酒類	24.4	25.2	26.0	17.3	19.7	14.2	19.7	20.5	14.2	14.2	8.7	39.4	29.1	16.5	3.9	9.4